

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年2月28日

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

関東運輸局

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)	地方運輸局等における二次評価結果	備考
							評価結果	
那須塩原市地域公共交通会議	ジェイアールバス関東株式会社	系統名: 西那須野線(黒磯線乗入黒磯駅直通) (西那須野駅～那須塩原駅～黒磯駅)	・鉄道との接続等のダイヤ見直し ・効果的なPRの実施 ・近隣市町との運行ダイヤの調整	A 適切に実施した	・目標 キロ当たり輸送人員 4.5人→3.8人 ・目標を達成できなかった理由 新型コロナウイルス感染症の影響により、感染リスクを少しでも下げる為に外出を控えていることに加え、高校生の通学手段の変更が大きく影響していると推測されます。	鉄道だけでなく、近隣市町のバスとも運行ダイヤを調整することで、乗り継ぎ時間の短縮を図る。 また、近隣市町のバスと共通定期券等の対象券種の拡大の検討を進め、通院・買い物利用だけでなく、市域を跨ぐ通勤・通学の生活交通としての機能を強化し、近隣市町と協力して相互に利用者数を増加させて、収支率の改善に努める。	・事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施されている。 ・目標・効果達成状況の未達成の要因として、新型コロナウイルス感染症の影響であることが確認できる。 ・関係自治体等と連携し、利便向上策を実施したことは評価できる。 ・広域な交通ネットワークの構築には、都県や市町村との日常的な連携が非常に重要であり、また、ICカードシステム等により得られる利用実態等のデータの活用により路線の再編やダイヤの見直し等を検討を図り、地域にあった交通サービスとなるよう改善を図っていただくことを期待する。	
第三者委員会における各委員からの意見								
<p>令和4年度地域公共交通確保維持改善事業第三者評価委員会における委員による以下の助言は、今後の取組みを行う上で必要な観点であり、考慮されたい。</p> <p>○お出かけの様式の変化について、新しい行動パターンに対応する交通システムについても、今後積極的に仕掛けることが重要。</p> <p>○ポイントは、「データ」や「デジタル化」であるが、デジタル化するだけで課題や問題点が解決するわけではないため、都県や市町村との日常的なコミュニケーションや議論が重要。</p>								